

令和 7 年 2 月 20 日

宮島で在来性種苗を使った体験植樹に協力します

広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センター宮島自然植物実験所は、広島県廿日市市宮島で実施される広島森林管理署の体験植樹について、廿日市市立宮島小学校・宮島中学校（愛称：宮島学園）への協力を行います。

宮島の貴重な自然を守るため、文化庁から許可を得た上で、広島県の策定した保護管理計画に基づき、地域性種苗^{※1}を利用した植樹を令和 7 年 3 月 13 日（木）に実施する予定です。

今回利用したタネは宮島島内で許可を得て採集されたもので、また苗は、宮島自然植物実験所の指導のもと、宮島学園の児童・生徒と廿日市市宮島支所、宮島弥山を守る会などの方々が育てたものです。アカガシやウリハダカエデなど約 15 種の苗木を宮島学園の生徒が植樹し、宮島自然植物実験所の教職員および学生を含む約 50 名のボランティアがそのサポートをします。

これは地域の生物多様性を守るとともに、カーボンニュートラルおよび防災・減災の観点から、平成 26 年から進めている事業の一環です。



前年度の地域性種苗の植えつけの様子（2024 年 3 月 12 日）



植栽する地域性種苗の例

※1 地域性種苗

緑化の対象となる地域に自生している植物種に由来するタネ（種子や果実）・苗木で、採種場所や採種月日など履歴が確かなもの。

◆体験植樹

日 時：令和 7 年 3 月 13 日（木）8 時 30 分～15 時（予定）

植樹場所：廿日市市宮島（74 林班）

体 験 者：宮島学園の児童・生徒約 20 人

協 力：宮島自然植物実験所教職員学生約 10 人，各ボランティア団体（瀬戸内海国立公園宮島地区パークボランティアの会，宮島弥山を守る会他）約 30 人，宮島ロープウエー約 5 人

【お問い合わせ先】

瀬戸内CN国際共同研究センター

宮島自然植物実験所 坪田 博美・内田 慎治

TEL:0829-44-2025 FAX:0829-40-2001